

形式：オンラインセミナー（Live 配信）

補足： Live 配信に加え【見逃し配信】も実施します。当日の受講が難しい場合は見逃し配信をご視聴ください（配信期間は 10 日間程度）

ジャンル：知財

講習会コード： t d s 2 0 2 4 1 0 1 6 z 1

具体的に何をしたらいいのかわかる侵害回避手順、技術者が行う簡易な侵害判断方法など、失敗談や実例を交えて具体的に解説します。更に、争いを事前に回避する予防策も紹介します。

研究・開発部門における 効率的な特許“侵害”回避対応と予防策

講師：Rita 特許事務所 所長 弁理士 野中 剛氏

松下通信工業（現パナソニック）において営業・商品企画を担当。退職後、平成 14 年弁理士登録。特許事務所に勤務し、国内外の特許・意匠・商標の実務を担当。平成 22 年に現事務所を開設。
【専門分野】電気、機械、制御関連の特許出願業務、商標出願業務。英語、中国語、韓国語、ドイツ語にも対応。

●日程 2024 年 10 月 16 日（水） 14：00 ～17：00 ※アーカイブのみのご受講も可能です

●受講料 **24,200 円**（税込／テキスト付） ※8/16（金）までにお申込の場合、**19,360 円（2 割引）**となります

1. 知的財産権の侵害とは

- (1)特許権侵害 (2)実用新案権侵害 (3)意匠権侵害 (4)商標権侵害
(5)著作権侵害 (6)不正競争防止法違反に基づく侵害

2. 知的財産権の侵害が成立した場合

- (1)差止請求、輸入差止、輸出差止 (2)損害賠償請求 (3)不当利得返還請求 (4)信用回復措置請求
(5)関税法による輸入/輸出差止 (6)刑事罰 (7)世間の批判 (8)攻撃を受けた時のダメージ

3. 侵害を回避する方法

- (1)争いになる前に侵害を回避する (2)争いになってしまった後に侵害を回避する
(3)特許権侵害の回避の定義 (4)特許権取得と侵害回避は別次元の話

4. 侵害事件の経験談

- (1)特許の権利化阻止（無効審判など）を注視していたら、不正競争防止法違反で訴えられた
(2)ライセンス交渉している間に、簡単な仕様変更で侵害回避できた
(3)構成要件の違いはたくさんあったのに、均等侵害が成立した
(4)特許権侵害の警告状を受けたが、取引先の働きかけで解決した

5. 特許権侵害訴訟について

- (1)警告状無しで突然訴えられる？ (2)特許侵害訴訟の流れ (3)審理の流れ (4)権利者と侵害被疑者の立場の違い
(5)訴訟上の和解、訴訟外の和解 (6)特許侵害訴訟における注意点

6. 具体的な特許権侵害の回避方法

- (1)侵害回避手順、特許権侵害と言われそうな他社特許を探す (2)技術的範囲に属するか否かの判断
(3)間接侵害の検討 (4)均等侵害の検討 (5)事例紹介
(6)先使用権の検討 (7)侵害を回避する仕様変更 (8)特許の無効化検討
(9)自社の知的財産の有無 (10)ライセンス料を払って侵害回避、事前準備の重要性

7. 間接的な侵害回避方法

- (1)自社特許で、侵害予防 (2)特許にするコツ (3)情報提供や特許異議申立

8. 特許権侵害を回避、予防するための提案

- (1)事前調査の重要性 (2)特許法の理解と、技術の理解と、市場の理解 (3)いつでも仕様変更出来るとは限らない
(4)経営者が知財を理解していないと大変なことになる (5)経験することも悪くない？ (6)信頼出来る弁理士・弁理士の選定
(7)外部発信対応 (8)外国で事業を行う場合の注意点 (9)裁判外の紛争解決方法

<習得知識>

- ・特許権侵害が成立した場合のリスクの内容
- ・特許権侵害判断を含む、特許権侵害回避手順
- ・特許権侵害を回避する考え方と具体的な特許権侵害回避方法

<講義概要>

特許権の侵害をした場合、特許権者から損害賠償請求などで訴えられ、多大な損害賠償を払わされたり、取引先に迷惑をかけたりする危険性があります。特許権の侵害回避では、特許の請求の範囲と製品とを対比して、技術的範囲に属するか否かの点に注力しがちですが、侵害回避の手法はそれだけでは不十分で、他の回避手段を複合的に検討することが肝要です。

本講座では、特許権侵害のリスクも踏まえながら、回避するための具体的な対処方法などを研究・開発部門の方々にも分かるように平易に説明します。

<お申込要項>

下記に必要事項をご記入の上、FAXにてお申込みください（※は必須です）

FAX
03-6261-7924

申込講座	2024/10/16 研究・開発部門における 効率的な特許“侵害”回避対応と予防策		
会社名※			
所在地※ (請求書等の送付先)	〒		
参加者①	氏名※		TEL※
	所属※		FAX
	Email※		@
会員登録	<input type="checkbox"/> 登録する <input type="checkbox"/> 登録しない (登録料・会費はかかりません。お得な割引や会員イベント情報を配信します)		
参加者②	氏名※		TEL※
	所属※		FAX
	Email※		@
会員登録	<input type="checkbox"/> 登録する <input type="checkbox"/> 登録しない (登録料・会費はかかりません。お得な割引や会員イベント情報を配信します)		
支払方法※	<input type="checkbox"/> 銀行振込 (紙請求書) <input type="checkbox"/> 銀行振込 (PDF 請求書) <input type="checkbox"/> カード支払い <input type="checkbox"/> 未定のため後日連絡する		
支払予定日※	<input type="checkbox"/> [] 月 [] 日ごろを予定している <input type="checkbox"/> 未定のため後日連絡する		
備考※			

お申込について

① 以下のいずれかの方法でお申込みください

A	FAX	上記に必要事項をご記入の上、送信ください
B	E-mail	送信先: entry@tech-d.jp メール本文に<①【申込講座】 ②【会社名】 ③【所在地】 ④【氏名】 ⑤【所属】 ⑥【Email】 ⑦【TEL】 ⑧【支払方法】、⑨【支払予定日】>をご記入の上、ご送信ください
C	Web	https://tech-d.jp/ の各講座のページからお申込みください

② お申込受付後、受付完了のご連絡（メールまたはお電話）をいたします

③ 請求書等をお送りいたします

<注意>

- ① お申込後 1 週間たっても受付完了の連絡がなかった場合は、お手数ですが、弊社までご連絡ください
- ② 開催日の 7 日前以内のキャンセルはお受け致しかねます。必要に応じ代理の方のご出席をお願いいたします

お支払について

<期日>

受講料は講習会開催日の翌月末日までにお支払いください

※期日までに間に合わない場合は、対応いたしますのでご一報ください

<方法>

- ① 銀行振込（振込手数料は御社にてご負担願います）
- ② クレジットカード（支払方法はメールでご案内します）

【お振込先】

振込先銀行	三井住友銀行
支店	多摩センター支店 (909)
口座番号	(普) 0973522
名義	株式会社テックデザイン

主催 申込・問合せ先	名称	株式会社テックデザイン (http://www.tech-d.jp/)		
	住所	〒102-0074 東京都千代田区九段南 3-9-14 九段南センタービル 5 階		
	電話	03-6261-7920	FAX	03-6261-7924
	E-mail	entry@tech-d.jp (申込) / info@tech-d.jp (問合せ)		